

令和3年度 第1回摂津市立千里丘小学校学校協議会 要点録

令和3年8月25日(水) 18:30~20:30

於: 千里丘小学校 東棟1階会議室

記録: 紅林 陽子(事務局: 本校教頭)

1. 校長より挨拶

本年度は新しいメンバーも加わり、10名の委員の皆様で協議会を進め、様々な立場からご意見いただきたいと考えています。また、4月より新たに紅林教頭が赴任しています。よろしくお願いいたします。

2. 委員自己紹介

橋爪 恵子(民生委員)	今年度より委員となる。NPO法人サポートビューロ委員。なかなか学齢期の子どもの関わりがないので良い機会だと感じている。
以登田 毅(元小学校校長)	元摂津市立小学校長。現在は、わくわく広場、校区福祉委員会、次世代交流など、地域の子どもとお年寄りをつなぐ土台作りを進めている。
中田 康之(元PTA会長)	元本校PTA会長。長年PTA活動をされていた。本校の発展のために尽力したいと考えている。
佐野 英和(元PTA会長)	元本校PTA会長。今はPTA活動からも遠ざかってはいるが、協議会を通じて勉強させていただきたい。
前馬 晋策(元小学校校長)	元摂津市立小学校長。長く教育委員会にて勤務経験あり。今回協議会に参加することで、少しでも市内の学校が活性化するために意見が言えたらと思う。
木下 さひ子 (認定こども園 Kentoひまわり園園長)	摂津市保護司。地域の就学前施設から見て意見が言えたら、と考えている。
青木 みゆき(元民生委員)	引き続き、地域の状況を踏まえ、委員として一緒に考えていきたい。
藤浦 清美(青少年指導委員)	わくわく広場の指導員。引き続いて勉強させていただき思いで参加させていただく。
寺田 洋子(主任児童委員)	昨年度より主任児童委員を務めたものの、昨年度コロナの影響で実際に子どもに関わる機会が少ないが、本協議会で少しでも意見を出せたらと考えている。
武友 加代子様(民生委員)	都合のため欠席。

3. 内容

(1) 令和3年度 千里丘小学校学校経営方針について

校長：今年度の本校の学校経営計画について、ご意見いただきたい。

委員：「情報発信に関わって」のところは、今年は特にないのか？

校長：最初の中期的目標のところに全目標を書いている。今年度の計画を立てるにあたって、その中からいくつかを取り上げ、具体的な教育活動、重点目標と教育活動を書くように、と教育委員会から指示されてこの形になっている。

委員：承知した。ただ『情報発信のあり方』というのを大きく取り上げているのに、なぜ記載がないのか、整合性がないような気がする。

校長：目標の柱としては、①安全で安心できる学校づくり②確かな学力と体力を育む学校づくり③信頼される学校づくり、である。

『安全で安心できる学校づくり』は、誰もが元気に登校できる学校をめざす。ねらいは集団づくり、仲間づくりであり、その上において、教員も児童も人権感覚を身に付けていくことを目標に掲げている。『安心できる居場所』づくりにおいては、支援教育や不登校のことについても触れている。また、防災教育を進め、自ら命を守る行動ができる児童の育成をめざす。そして、教職員の育成を進めていく。ちなみに、今年度教職員は29名、そのうち育児休業者が3名、平均年齢36.5歳となっている。

二番目の柱として、引き続き学力向上に力を注いでいきたい。そのための具体的として、授業改善やICT機器の活用等を挙げている。児童が「わかった」という実感が持てる授業づくりをめざして授業改善を進めていく。家庭学習も学力向上に大きく関わっているということがあるので、家庭との連携も進めていく。また、体力向上と併せて、関連がある生活習慣の向上を二番の柱の中に掲げた。

三番目の柱では、保護者、地域との連携、先程ご指摘をいただいた情報発信を目標に掲げている。学校のことを、保護者だけでなく地域の方にも知ってご理解いただくために何ができるか、について考え進めていく。

学校経営を進める上で、外から見た本校の強みにはどんなものがあるか、ご意見をお伺いしたい。

委員：わくわく広場で子どもたちの様子を見ていて、他の校区と比較してみると、千里丘小学校の子どもは注意すると聞いてくれる。注意した際、聞いてくれるまでの時間が短い。これはやはり千里丘の子は先生との関係、親との関係ができていないからではないか、と考えている。一昨年前、授業参観させていただいたときは、児童が積極的に授業に参加しており、課題にくいついてくる校風がある、と思った。やはりそれが強みかな、と思う。

委員：挨拶をよくしてくれる。6年生でも大きな声で挨拶してくれ、逆に低学年の子の声の方が小さいくらいである。「おはようございます」と大きい声で挨拶してくれて気持ち良い。近所のおばちゃんだ、と安心してくれている感がある。コミュニケーションの基本となる挨拶ができるのが良い。

委員：登校でいうと、千里丘小学校の行っている集団登校はいいと思う。集団登校で、異学年のつながりができる。

上の学年の子の言動を見ることで、知らず知らずのうちに低学年を気遣うことができるようになっている。集団登校は全市でやっているのかと思っていたが、そうではないと知って、そのありがたさを知った。子どもが休んだ時に、近くのお姉さんが連絡帳を持ってきてくれたりしてくれたこともあった。

校長：地区委員もよく把握されている。集団登校班をつくるために情報を集めていらっしゃる。

委員：私も集団登校はいいと思う。親としては、集団登校の場所まで行くと安心できる。あと、学習に対する意識が高い保護者が多いように思う。突出して誰かができる、というわけではなく、総じてできる印象。授業を見ても落ち着いている。

委員：私はもともと三宅柳田小学校の校区で生まれ育ったので、その地域のことはよく分かるのだが、KENTOひまわり園は平成30年に開園してから間がなく、千里丘小学校校区のことがよく分かっていない。もっと地域のことを知っていきたいと考えている。今、保護者の様子を見てみると、子育てや保育、教育的なことに関して、関心が高い方の割合が多いな、と感じる。子どもを大事にしている、家庭の様子も安定している印象がある。

委員：強みは、教職員が“自分たちのやっていることが素晴らしい成果を残している”と自信を持っていること。ただ、今お話を聞いていると、地域や保護者や子どもに支えられている部分が多く、本当に教育で成果を上げているのか、自分たちで振り返る必要があると思った。自信満々の人が教えないと子どもたちもついてこないのは確かだが、どこかで振り返る必要があるとも思う。強みは裏表で弱みにもなる。安定してきている千里丘小学校も過去には生徒指導上でしんどい時期もあった。うまくいかなくなると、どうしたらいいのか分からなくなって対応が遅れたりもする。今の状態は、自分たちの取り組んだ成果なのか、細かいところを振り返る必要があるのかな、と思う。

委員：60歳まで高槻の中学校で教員をしていたが、在職中は忙しくて住んでいる地域のことも正直見えておらず、摂津市の中学校や小学校の様子は情報としては持っていない。でも、地元として変わっていないなと感じている。今こういった形で出身校に関わらせていただいて、小学校はこうなんだな、と感じているところである。

委員：会社が摂津小校区にあり、登下校する摂津小学校の子どもたちを見ていると男女が仲良いように見える。自分の子どもが小学校に通っていたときは、男の子と女の子で仲良かった、というイメージがあまりない。摂津小の子どもたちが仲良く帰っているのを見ると、いいな、と思う。

委員：民生児童委員でありながら、最近は高齢者の方とばかり関わることが多く、千里丘小学校の様子のことがよく分からなくて反省している。サポートビューローに若いお母さん方が来たりするので、これからいろいろと話をしっかり聞いたり、他校の様子も勉強していきたいと考えている。

校長：学校の強みというより、地域や家庭の強みの方が大きい、というご意見が多いと感じている。

逆に**千里丘小学校の弱みと思われるところをお聞きしたい。**

委員：表面的に落ち着いているように見えるから、逆にいじめ等が顕著に見えない、ということもあるのかもしれない。わくわく広場の中でボールの取り合いなどが起こった時、従順な雰囲気で見えにくく見過ごしてしまう部

分があるのではないか。落ち着いているからこそ、いじめが表面的に見えていない可能性もあることを、常に教員は意識しておく必要があるのかもしれない。

校長：授業でもそうで、静かにしているから分かっているかという、本当に分かっているのか疑問なときもある。いじめや行動面でも見えにくい部分はあるのかもしれない。

委員：千里丘小学校は10校ある小学校の中で一番北にあり、地理的に取り残され浮いている感じがする時がある。千里丘小学校は、交通の便など立地的に教職員に人気がある職場である。五中校区などは遠くて行きにくい面はあるが、鳥飼と名の付く中学校区は結びつきが強く、中学校区で連携しやすい。千里丘は便利だけど、摂津市全体からは離れている感じがする。千里丘の教職員は研修に積極的に参加しているかというと、そうでもないことも時にはある。ここだけで完結している独立王国になってしまっていたら、若い人は育って行かない。

校長：確かに、三中校区でいうと三宅柳田小と三中は距離が近いが、地理的に千里丘は離れていて、集まるにも別対応が必要だったりする。

委員：確かに、三中と三宅柳田小はプラスバンドなど交流もしやすく多い。また、千里丘小学校の子どもたちはあまりもまれていない環境にあるので、中学校に進学すると、三宅柳田小学校出身の児童の方が多く、圧倒される場面もある。

委員：特に市場からだとなんて遠くて通学も大変。

校長：一年生は通学するのに40分くらいかかると聞いている。阪急の駅から北にある学校は千里丘だけでガードを超えて行かないと他校まで行けない、というハードルもある。

(2) 情報発信のあり方について

校長：今年度保護者に配付した学校だよりとHPのQRコードをお配りさせていただいた。学校だよりについては昨年度からご意見をいただいているところである。昨年度の協議会において、学校の情報発信に関する保護者向けのアンケート結果における「学校だよりの分かりやすさ」の課題についてどう改善していくとよいか、ご意見をいただいた。昨年度は「字数が多い」「写真の活用」「読んでみたくなるような見出し」「本当に伝えたいことを表面に書き、裏に細かい情報を載せる」などのご意見をいただき、努力を進めたところ、「分かりやすさ」ではポイントが上昇した（令和元年度は88%→令和2年度は93%）。その一方で昨年度のHPの情報発信についての肯定的回答は78%であり、今年度はHPの取組みも進めているところである。

委員：摂津市の小学校は、どの学校もこのような枠組みでHPがあるのだろうか。

委員：基本的な枠組みが与えられて、見出しや中身についてはそれぞれ学校で工夫をして作っている。

校長：もっとこういう情報が欲しい、見ていただいての感想、こんなことが知りたいなあ、など、ご意見を頂きたい。

委員：誰をターゲットにしているのか、というのが大切だと思う。おそらくターゲットは児童、保護者、地域の人と、実は教員ではないかと思っている。教員が他校の取組みを知る場にもなっている。児童をターゲットにしている

のであれば、歴史が分かるなど、ポータルサイトになるようなところが必要だと思う。今の千里丘小学校のHPが変わろうとしているけれど、最近更新頻度が落ちてしまっていて残念ではある。味生小学校でもHP作成のお手伝いをしているが、子どもたちが調べ学習を進めるために、リンクなどをいろいろ張っていったらどうか、と思っている。ターゲットごとにどうしていくのか。保護者が本当におたよりを見たいと思っているのであれば、HPを活用すれば役立ち感は変わると思う。

委員：例えば、年間の行事の予定を載せておくとか、行事の変更など生活の中で確かめたい、という情報を確認できたりすると便利じゃないかな、と思う。

委員：今、学年だよりの夏休み号に宿題が記載されていて、私が保護者の時にあったら便利だったな、と感じた。

委員：給食ある日、ない日、とか。

委員：冷蔵庫に貼ったりしていたが、どこかに行ってしまうこともあった。Web上でいつでも確認できるのは良い。ただ、HPのみしてしまうのはどうかとは思う。全家庭、Web環境はあるのか？

校長：スマホは多くの方が持っておられると思うが、それについては疑問。また、年度当初に年間行事予定を出したのだが、コロナの状況もあり変更がたくさんあって、変更に対するお叱りの声もいただいている。先の予定まで示すことについては慎重に行う必要がある。一方で、情報をお伝えすることは大事だとも考えている。

委員：“今の保護者の方がどう思われているか”が重要だと思う。私はまだ紙媒体の方が馴染みがある。

委員：クラスで学級通信を出してくださる先生もおられ、子どもの日記を抜粋して紹介していただいていた。だが、今は個人情報が見られる記事は向かないのだろう。トピックなどをいただいて読むのは好きだった。

委員：このHPはどなたが作られているのか。教頭先生？

校長：HP専門のICT担当などはいないので、普段の業務をしながら進めるしかない。ただ、忙しいことを言い訳にしていたら、昨年のように全然更新できない。毎日更新する学校もあり、他校のHPの取組みが励みになったりしている。

委員：先生方が分担して手掛ければ良いと思う。もっとくだけたコラムみたいな感じで紹介したら、先生のことを知って距離が近くなるのでは。親密度が増すことで「学校に頼まれたら協力しよう」という気持ちになると思う。児童や保護者に親しみのあるHPをめざしてほしい。また、一部の先生に仕事が集中しないようにするのが大切な、と思う。

委員：こども園では、基本的に子どもの様子を伝えられるように、できるだけ月に1回のペースに発信している。しかし、気づけば長らく更新が止まっていたりしてしまっている。担当を決め、ちょっとしたコラムなどを取り入れ、ブログ風に写真を活用して作っている。また、入園希望者、就労希望者などいろんな方が見られていると思う。他の園のお知らせなどは、業務の参考にもさせて頂いている。

委員：作成についての基本は紙ベースにしても同じで、“読んでみようかな”と思わせるよう、写真を工夫したりすることが大切。また、探しやすいものであることも必要。その気にさせる努力が大事な、と思う。中身については、フィードバックできるものが良い。探しやすい、ということも大事。まずは“見てみようか”と思わせるよう

な努力が必要だと思う。

委員：私が以前勤務していた学校の校長時代に、学校だよりなどの発信について、以登田先生にご意見いただいた。その時指摘されたことが、「過去形の報告が多い」ということ。そうすると自己満足だけで、見てくれない。過去の内容でもできる限り早く発信すると、「今日のことだ!」と現在進行形に近くなると思う。当時やっていた校長ブログも、毎日更新しているとアクセス数が伸びた。絵日記風の報告はやめ、「今どんなことが学校で進んでいるか」という現在進行形にすると、HPは面白いと思う。

委員：色々な方の話を聞いていて思ったのだが、継続して続けていくことを考えると、学校が発信して地域の大人を味方につけることをねらっていくことが大切だと思う。あまり欲張らず、学校がやろうとしていることについて発信していった方が地域全体が活性化していくと思う。発信する内容も偶然起こることに任せるのではなく、学校はねらって発信していく必要がある。

校長：貴重なご意見、ありがとうございます。

4. その他

校長：今日、初めて協議会に参加された方に少し感想をお聞かせ願いたい。

委員：みなさん、とても熱心に千里丘小学校のことを考えていらっしゃって、勉強になった。もっとアンテナを高くして勉強していきたいと思う。

委員：みなさん熱心で、楽しかった。ただ、協議会の目的を校長がよく考えておかないと、単なる思い出づくりに終わってしまう。話し合いの中で何を参考にして、何を取り入れたかをはっきり示すことで、さらに意見が活発になるし、当事者意識を持ってみなさんが参加できると思う。期待している。

教頭：千里丘小学校の強み、弱みを伺う中で、千里丘小学校が地域から愛されていることがよく分かった。その分、私たち学校が地域に情報を発信することは責務だと感じた。発信を通じて地域と学校とをつなぎ、地域を味方にできるように働きかけていきたい。

5. 次回の予定

次回は、授業参観を予定（学力向上、体力づくりの取組みの参観）

次回日程は、9月24日（金） 9:45～10:50 に開催。